

2025 年度 WAVOC 支援ボランティア団体 紹介冊子



WAVOC

早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター



WAVOC へようこそ！

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）は、ボランティア機会の提供や関連イベントの開催、社会貢献に関する科目の提供、ボランティア活動に従事するプロジェクト・サークルの支援等、様々な活動に取り組んでいます。

本冊子では早稲田大学で活動する多種多様なボランティアプロジェクト・サークルを紹介しています。いずれの団体もウェブサイトや SNS に詳細が掲載されていますので、活動内容、団体の規模、活動頻度など、気になる団体があれば積極的に連絡をとってみてください。それが、あなたの大学生活を変える第一歩になるかもしれません。

WAVOC はいずれの団体の活動も支援しています。所定の要件を満たした団体に対して、会議室の利用や WAVOC ウェブサイトや SNS 等での広報協力、備品の貸出等で、学生達の活動をサポートしています。

早稲田ボランティアプロジェクト

WAVOC の教員それぞれの専門性を活かし、その指導の下、活動する WAVOC 主催プロジェクトです。学生自身が主体性をもって取り組み、成長していくことを教員がサポートします。

学生部公認サークル

本学が定める設立要件を満たした、早稲田大学公認のサークルです。

学生部登録サークル

公認ではありませんが、本学に団体登録、活動の届け出をしているサークルです。

WAVOC でも、様々なボランティア機会を用意しています。子どもの居場所づくり、自然環境保護、障がい者支援、スポーツ、地域活性、農業、防災など、活動分野は多岐に渡ります。日帰りの活動やイベントを中心に、宿泊を伴うスタディツアーなど、さまざまな形態を取り揃えていますので、ご自身のペースに合わせて参加できます。

WAVOC が開催するイベント・スタディツアー情報はメールニュースで配信、または SNS に投稿しています。是非登録、フォローのうえ、活動にご参加ください。



※本誌に掲載している団体、データ等は 2025 年 4 月時点のものです。

目次

1. 早稲田ボランティアプロジェクト

・グローバル・シティズンシップ教育ユニオン	2
・災害ボランティア研究会	2
・ソーシャルビジネス起業プロジェクト	3
・バラスポーツ子どもボランティアプロジェクト	
・陸前高田プロジェクト	3

2. 学生部公認サークル

・青空子ども会Ⅱ	4
・アトム通貨実行委員会 早稲田・高田馬場支部	4
・池袋子ども会	5
・狩り部	5
・環境ロドリゲス	6
・気仙沼チーム	6
・思惟の森の会	7
・児童文化研究会	7
・新宿子ども会 KIDS	8
・チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～	8
・農楽塾	9
・POST	9
・まつだい早稲田じよんのびクラブ	10
・ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～	10
・ロータリーの会	11
・WHABITAT	11

3. 学生部登録サークル

・田舎留学プロジェクト	12
・学習支援サークル BORDER FREE	12
・学習支援 STEP UP!	13
・学校ボランティアプロジェクト	13
・関東中高まなびプロジェクト	14
・助走の場・雲	14
・先生のための教育辞典 EDUPEDIA	15
・つばみプロジェクト	15
・ハートタッチ	16
・BAM 部	16
・びよーんど	17
・フードグローバルプロジェクト	17
・ボルネオプロジェクト	18
・無国籍ネットワークユース	18
・MetaSphere	19

グローバル・シティズンシップ教育ユニオン(GCE Union)

教育・国際交流・多文化共生・難民・在留外国人支援



「シルクロードの国アフガニスタン」「高田馬場 a.k.a. リトルヤンゴン」

WAVOC の名称にも刻まれた画家・平山郁夫先生は、初めてアフガニスタンを訪問した際、空気が澄み爽やかで感動的な国であると述べました。他方、高田馬場地域にはミャンマールーツの人々がコミュニティを形成しており、「リトルヤンゴン」とも呼ばれています。早稲田や WAVOC とゆかりのあるアフガニスタンとミャンマー。しかしこの両国は、紛争が絶えず、深刻な貧困と格差を抱えた国です。令和 5 年の日本における国籍別難民認定者数、第 1 位はアフガニスタン、第 2 位はミャンマーです。この団体では、アフガニスタンやミャンマーの難民や移民の支援を通して、彼らと交流し、グローバル社会の現状と真実について学びます。

◆活動計画

2025 年 4 月：メンバーの募集・オリエンテーション

以降、週 1 回の在留外国人を対象とした学習・生活支援活動や交流会の計画・実施

2025 年 11 月：世界こどもの日ユースフェスティバルへの参加

2025 年 12 月：ワボプロ報告会での発表

◆Episode

GCE Union は 2024 年 4 月から本格的な活動を開始した団体です。

ボランティアで大切になるのは、支援－被支援という位置づけを超えた対等な関係性の構築です。対話を通じ、お互いを一人の人として尊重しながら、ボランティアを通してお互いが成長できる機会を創出します。

ぜひ、アフガニスタンやミャンマーからの難民・移民支援を通して、当事者と出会い、資料や映像のみでは知ることのできない現実と向き合ってみましょう。ここでの体験が、あなたの大学生活を、そして人生を大きく変える一歩になります。

問い合わせ先 kaz.yui@aoni.waseda.jp

メンバー数 18 人

参加費用 年間 3,000 円（予定）

活動時期・頻度 週 1 回 学習・生活支援活動、その後に定例ミーティング
不定期で交流イベントや公開学習会を実施

災害ボランティア研究会

災害ボランティア



子どもたちの防災リテラシーを高めるための教育活動に参加してみませんか？このプロジェクトでは、より良い災害ボランティアのあり方について考え、それをもとにキャンパスの近隣や被災地で実践的な活動を行います。

この活動では、地域社会や、行政機関、研究機関など、様々な分野との連携を大切にしています。そのため、児童館や、高齢者のボランティア団体、自治体の職員、早稲田大学外の研究者など様々な人々と協力しながら活動を行います。

「研究者コミュニティに入りたい」

「地域の子どもと交流したい」

「高齢者の知恵を後世に残したい」

このような様々な思いを「防災ボランティア」をキーワードに、みんなで協力して実現していきましょう！

◆活動計画

1. 防災ボランティアの方法についての研究：週 1 回（オンライン）
2. 『防災絵本』の製作と読み聞かせ：不定期（読み聞かせを行う学生のみ参加）
3. 被災地でのボランティア活動の後方支援：災害発生時（交代制で毎日実施）

週に 1 回程度ミーティングを行い、進行中のプロジェクトの準備をしたり、災害や防災の観点からメンバーの意見を共有したりして活動を進めています。

入会お待ちしております。

問い合わせ先 wavocsaigai@gmail.com

メンバー数 約 10 人

参加費用 なし

活動時期・頻度 週 1 回程度



ソーシャルビジネス起業プロジェクト

社会課題解決・ソーシャルビジネス



私たちは、2022 年 4 月に発足した社会課題をビジネスの手法を使って解決する団体です。自分の関心のある社会課題のプレゼンやビジネスコンテストへ向けたプラン作成、ソーシャルビジネスをされている起業家の方をお呼びした講演会など幅広く活動を行っています。また 2024 年からは能登ボランティアにも参加しています。

ソーシャルビジネスや起業に関心がある方は、ぜひソーシャルビジネス起業プロジェクトへ！

◆活動計画

4 月：新歓活動

5 月～7 月：課題感を深める活動（ボランティア,講演会,メンバーが立案した企画）

8 月～9 月：合宿,ビジコン参加

10 月～1 月：メンバー企画,アイデア立案,ビジネスアイデア実現に向けた実証実験

2 月～3 月：合宿,ビジコン参加,ボランティア

◆Episode

社会課題と聞いてまず何を思い浮かべますか？世の中に目を向けると身近な社会課題があふれていることがわかります。ボランティアには、資金面で限界があり、活動の継続が困難な場合があります。世界中で広がりをもせるソーシャルビジネスは通常のビジネスとは違い、社会課題解決を目的としています。事業活動のために継続的に収益を上げながらも、社会課題を解決することで新たな社会価値を生み出すことができます。

私たちはまずソーシャルビジネスに興味を持ってもらい、メンバー間での共有を通じて 1 人 1 人が関心のある社会課題に向かって行動を起こすことを目的としています。

問い合わせ先 wavoc.socialbusiness@gmail.com

メンバー数 28 人

参加費用 500 円

活動時期・頻度 水曜日 5 限



陸前高田プロジェクト

地域課題、東日本大震災



陸前高田から遠く離れた東京の大学生に何ができるだろう。

2011 年、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市。陸前高田に足を運び復興の最前線を体感してみませんか。そして、地元住民の方々や陸前高田に通い続けている方々と協力しながら、“自分達がやりたいこと”×“陸前高田の方にとっても、いいこと、楽しいこと”を考え、取り組んでいきましょう。

#「ボランティア」や「地域課題」に取り組むなんて、自分には無理…？

…と感じているあなたこそ、このプロジェクトに向いているかもしれません。このプロジェクトでは、人と出会うこと、もやもやと悩んだり考えたりすること、地域と一緒に自分自身もちょっと変わってみたいことも大切にしていきたいと思っています。今の自分から一歩踏み出してみませんか。

#キーワード

東日本大震災の復興最前線を体感 # 地域課題に取り組む # 今の自分から一歩踏み出す

◆活動計画

4 月～ ミーティング（週 1 回）

8 月～9 月 現地活動（3 泊 4 日程度）

12 月 ワボプロ報告会にて活動報告

2 月～3 月 現地活動（3 泊 4 日程度）

※この計画は予定です。メンバー同士の話し合いで決めていきます。

問い合わせ先 wavocrikupro@gmail.com

参加費用 現地活動 1 回あたり 6 万円程度

活動時期・頻度 現地活動（長期休暇中、年 2 回）、
ミーティング（通年、週 1 回。試験前、長期休みを除く。
原則として対面で実施します）



青空子ども会Ⅱ

教育・地域交流



私たち青空子ども会Ⅱは、毎週土曜日の午後文京区にある公園で元気いっぱい小学生の子たちと楽しく遊んでいます。季節ごとにイベントがあり、学生だけの遊びも充実しています！毎週の活動では週替わりで4名ほどの学生が遊びを考えています。子どもから人気がある公園での遊びはドッチビーやしっぽとりです。イベントでは、大学の教室を借りたり、電車で施設に出かけたりします。小学生の元気な笑顔にはきっと癒されるはず！

気になる方は気軽にSNSから連絡してね！

◆活動計画

4月:新歓、5月:春のハイキング、7月:七夕、8月:夏のキャンプ、9月:学生合宿、10月:ハロウィン、11月:秋のハイキング、12月:クリスマス会、2月:節分、冬のファイティング、3月:学生合宿、追い出しコンパ

◆Episode

子どもと遊ぶのが好きで新歓に参加し、このサークルのアットホームで温かい雰囲気が好きになって入会しました。とにかく所属する学生が優しく楽しいです。イベントの企画で大変なこともあるけれど、学生と協力して無事企画を終えたときには、学生や子どもとより一層仲良くなれてとても嬉しかったです。昨年度から活動の幅が広がり、小学生だけでなく保育園との交流も毎月行っています！保育士を目指す方には特におすすめです！ぜひ、子会で待っています！

問い合わせ先 bluesky.kodomokai2@gmail.com

メンバー数 97人

参加費用 4,000円

活動時期・頻度 毎週土曜日の午後＋イベント



アトム通貨実行委員会 早稲田・高田馬場支部

地域活性化・環境・教育・国際協力



アトム通貨は早稲田・高田馬場の更なる活性化のために生まれた地域通貨で、早稲田大学の学生が運営しています。アトム通貨は早稲田・高田馬場にある約130の加盟店で使用できます。イベントを実施し、「社会貢献活動（イイコト）」をしてくれた参加者にお礼として通貨をプレゼントしています。また、地域のイベントでも企画出展をして通貨を配布しています。

地域の人や他の地域サークルの人たちと深い関わりを築くことができ、普通の大学生とは少し違う充実した大学生活を送れるはずですよ。早稲田のまちを舞台に自分のやりたいことを形にしてみませんか？ぜひ早稲田を第二の故郷に！

◆活動計画

4月 新歓 6月 ふるさと祭り 9月 地球感謝祭

11月 早稲田祭 西早稲田こども天国 3月 期末換金

など年間を通して早稲田・高田馬場の街を舞台に様々なイベントの実施、参加をしています。

◆Episode アトムと一緒にまちへ出よう

アトム通貨の強みは早稲田のまちを舞台に大きく活躍できることです。大学生だけではできないイベントでも商店会をはじめとした地域の方々の協力の下、たくさんのイベントを成し遂げてきました。アトム通貨には商店会の方々の中に完全に溶け込んでいる人や地域の方々から親しまれている人など様々なメンバーがおり、誰もが各々の強みを生かして活躍できる環境が整っています。

まちづくりや地域に興味のある人、イベントの企画や運営をしたい人、真剣に物事に取り組みたい人、多様なスキルを身につけたい人といった様々な人が集まっているので刺激を受けることができます。

問い合わせ先 atom.c.wt@gmail.com

メンバー数 10人

参加費用 なし

活動時期・頻度 週1回のミーティングと月1～2回のイベント



池袋子ども会

教育・地域交流



私たち池袋子ども会は、毎週日曜日の午前中に豊島区の小学校で子どもたちと触れ合い、木曜日には季節のイベントの企画等を学生で話し合います。当会の絶対の目標は、子どもに普段できない体験を味わわせることです。子どもにとって、かけがえのないものとは何なのか。目線を合わせて考えるのは少し難しいですが、彼らが見せてくれる、太陽のようにまぶしい笑顔は、私たちの思い出になります。

サークルの雰囲気は、ゆったりとしており、学生にとつての温かい居場所でもあります。「子どもが好き」が入会条件です。

◆活動計画

4月：新歓、5月：春のハイキング、8月：キャンプ、9月：花火会・学生合宿、
10月：秋のハイキング、12月：風の子まつり・クリスマス会、2～3月：卒業ハイキング・
卒業イベント・学生合宿（その他イベント多数）

◆Episode

私自身、保育士を目指していた時期もあり、子どもと遊べるサークルがあると聞いた時は素直に「楽しそう！ 入りたい！」と思いました。しかし池袋子ども会は東京家政大学との合同サークルで、東京家政大学には子どもに関する学部学科も多いことから、早稲田生は入りにくいのではないかなと思っていました。

しかし、結論から言えば全く心配することはありませんでした。子どもと関わる上で必要なのは先輩方が丁寧にサポートしてくれましたし、活動の中で少しずつ慣れてきました。何より子どもたちは本当に可愛いので、その気持ちだけで十分やっていけると思います！ 皆様ぜひお待ちしております！！

問い合わせ先 ikbkr.children2025@gmail.com
メンバー数 79人
参加費用 5,000円
活動時期・頻度 毎週木曜日の夜・日曜日の午前中



狩り部

環境・狩猟・獣害問題



私たち「狩り部」は「獣害」という地方での深刻な問題の対策のお手伝いをするボランティアサークルです。月に一回程度、千葉県で鴨川などに赴き、猟師さんのお手伝いや獣害対策の仕事などを行っています。現地では自分たちで捌いた「ジビエ」を食べることもできます！ 他にも猟師さんからいただいた肉でジビエ料理会を開いたり、プロの猟師さんからお話をいただいたりしています。

狩り部でしかできない体験、してみませんか？

◆活動計画

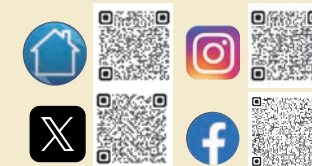
4～6月 新入生歓迎会兼勉強会、8月 夏休み現地活動、9月～10月 早稲田祭に向けた製作、12月 冬休み現地活動、2月～3月 春休み現地活動
*試験前、長期休みを除き基本的に週1回ミーティング

◆Episode 百聞は一見に如かず

「獣害問題」や「里山の過疎化」という言葉は多くの人が知っていると思います。私もニュースで耳にして知った気になっていました。しかし、初めて現地活動をした際に見た広大な耕作放棄地、放置され骨が見えるまで飢えた家畜に衝撃を受けました。如何に自分の視野が狭く、表面上の知識だけで片付けていたことを痛感しました。

だからこそ、ここで終わらせてはいけません。私たちは狩猟経験者ではなく、学生だからこそできることが沢山あります。各々が持つ個性を最大限に活かせる環境が狩り部にはあると考えています。

問い合わせ先 wasedakaribu@gmail.com
メンバー数 50人
参加費用 年会費 2,000円
現地活動費 5,000円
活動時期・頻度 週1回のミーティング、2ヶ月に1回を目安に現地活動



早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス

環境・教育・地域活性



私達環境ロドリゲスは「学生が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する」を理念として活動し、今年で 28 年目となる環境ボランティアサークルです。環境ロドリゲスの特徴は、「環境×○○」というテーマごとに分かれて活動していることです。現在は「里山」「海」「地域活性」「教育」「商品開発」「キャリア」「プラスチック」という 7 つのグループで活動しており、自分の興味のある分野で、学生ならではの目線で環境問題と向き合うことができます。

環境問題に関心がある方も、何か新しいことを始めたいと思っている方も、環境ロドリゲスで楽しくボランティアを始めてみませんか？

◆活動計画

- 4,5 月：新歓、新歓ビラ回収、新歓合宿、新歓遠足
- 6,7 月：出前授業(小学生向け環境教育)、試験期間
- 8,9 月：夏合宿、鯖江訪問、佐渡旅、地球感謝祭
- 10,11 月：稲門祭、早稲田祭、理工展、西早稲田こども天国
- 12,1 月：総会、勇退会、試験期間
- 2,3 月：出前授業、鯖江訪問、冬合宿、東北訪問

◆Episode ボランティアを通じて知ったこと

環境ロドリゲスは今まで、ゴミの分別指導や商品開発、環境教育イベント、さらには里山・地域訪問のように、「人とのつながり」を大切にしながら、実践的な活動を幅広く行ってきました。現在でも多様な団体の方々とご協力させていただいており、日々楽しく様々な取り組みを行っています。また、メンバーが個人的に海でゴミ拾いをしたり、出かける際はエコバッグを持参したりと、一人ひとりが環境問題をより身近に感じることができています。

環境ロドリゲスでの活動を通じて、このような「日常の小さなこと」にも気づいて行動してみることの大切さを学ぶことができました。

- 問い合わせ先 rodo_contact@yahoo.co.jp
- メンバー数 60 人
- 参加費用 3,000 円/半年
- 活動時期・頻度 通年(試験期間にあたる 7 月・1 月を除く)・1 グループ当たり週 1 回(複数グループ掛け持ち可能)



早稲田大学気仙沼チーム

地域交流・地方創生・東日本大震災復興支援



私たちは東日本大震災直後の早稲田大学と宮城県気仙沼市のつながりから発足し、以来、継続的に復興支援活動に取り組んできました。気仙沼稲門会をはじめとした気仙沼の方々との交流、気仙沼訪問時の公募参加者へのスタディツアー実施のほか、東京で開催されるイベントへも参加しています。

2024 年度は、8 月のみなとまつり便をはじめとして、5 回以上気仙沼を訪問しました。イベント運営のボランティアから学習支援と、幅広い活動を通じて、様々な方と会うことができます。東日本大震災から 14 年を迎え、震災当時の姿だけでなく現在の魅力も発信することで、気仙沼がより活気溢れる元気な街になるよう復興支援を行っています。

◆活動計画

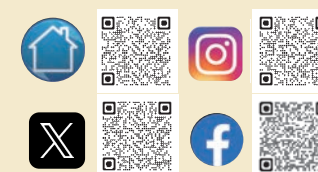
- 4 月：新歓活動 5 月：新入生歓迎イベント 6 月：新入生気仙沼初訪問 8 月：みなとまつり便 9 月～11 月：東京でのイベント運営ボランティア 11 月：早稲田祭出店
- 3 月：スタディツアー、東日本大震災追悼企画(予定)
- そのほか 2・3 ヶ月に 1 回程度、現地訪問を行います。

◆Episode

気仙沼を支える人との出会いが、私たちの活動の原動力になる。早朝、まだ少し更地の目立つ魚市場前にボツと、できたばかりの食堂と銭湯を見つけた。初めて来た私たちも「早稲田の気仙沼チームか！毎年お祭りの手伝いとかありがとね」と笑顔で迎え入れてくれた。「防潮堤建設で失った銭湯を漁師さんのために復活させてね」としみじみと女将さんは語る。昔から行き交う人々を大切にしてきた港だから、垣根のない優しい人たちで溢れているんだと実感した。

この街の復興の無限大の可能性と魅力は人にある。こうした幾つもの「出会い」と「ご縁」に感謝し、「ご縁」を繋ぐことで、ささやかながら気仙沼をより元気にするお手伝いをしていきたい。

- 問い合わせ先 kpjt2011@gmail.com
- メンバー数 46 人
- 参加費用 会費：300 円(2025 年度予定)
現地活動：随時
- 活動時期・頻度 二・三か月に一度の気仙沼訪問
その他週に 1 回程度ミーティング



思惟の森の会

環境・農業・地域交流



思惟の森の会では、主に田野畑村で農業、林業、漁業、地域交流などを行っています。村には早稲田大学の寮も設置されており、長期休暇にはそこに泊まり込み、村内にある3つの山の手入れをするだけでなく、村の方々のお手伝いとして農業・漁業・酪農に携わっています。合宿中は釜でお米を炊き、村の方からいただいた食材を用いて自炊するので、合宿所での生活も楽しみの一つです。

◆活動計画

春休み（2月～3月）：挨拶回り、**ゴールデンウィーク**：新歓合宿（田野畑村）

5月～6月：春季草刈り（東伏見キャンパス・上井草キャンパス）

夏休み（8月～9月）：夏合宿

10～11月：秋季草刈り（東伏見キャンパス・上井草キャンパス）

10月末頃：稲門祭、**11月**：早稲田祭、秋合宿

◆Episode「最高の瞬間」

田野畑村ではよく農作業のお手伝いに行きます。農家さんのお手伝いと言えば収穫を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、実際は草むしりや無駄な葉の除去といった地味な作業が多く、お手伝いも大変です。しかし体験することで初めて、農家さんの実態と食の大切さを学ぶことができます。

日本では形の悪い野菜は販売されず捨てられてしまうことが多いですが、お手伝いに行くとこの野菜やご厚意によって自家栽培の食材を頂くことができます。頂いた食材で作ったご飯をメンバーで囲んで食べる時間は最高です。私たちにとって田野畑村とは、人の温かさ、食のありがたみを教えてくれる大切な場所です。

問い合わせ先 mori.waseda@gmail.com

メンバー数 95人

参加費用 合宿参加のため諸経費（交通費、生活費等）（入会費・年会費0円）

活動時期・頻度 主に長期休暇期間に活動します。
月に一回程度ミーティングがあります。



早稲田大学児童文化研究会

地域児童ボランティア



70年以上の歴史を持つ、早稲田の児童ボランティアサークルです。都内のいくつかの児童館から依頼を受け、毎週、児童館へ来る子どもたちと遊ぶボランティアを行っています。ほかにサークル全体として人形劇の製作、公演も行っています。児童館、図書館、保育園などで披露するために、1年のあいだに3つの新作を準備します。台本や人形、小道具などすべて手作りです。

自分の都合に合わせてボランティアや人形劇の活動が行えます。子どもが好きな方、人形劇に興味がある方、何か新しいことを始めたい方、ぜひ一度見学にいらしてください！

◆活動計画

4～5月…新歓、春の人形劇公演 7～9月…夏の人形劇 8月…夏合宿（去年はなし）

11月…早稲田祭での人形劇公演（去年はなし） 12～2月…冬の人形劇

◆Episode

サークルに入って、児童ボランティアの「やりがい」は？と訊かれる機会があります。その度に返答に困る自分がいました。子どもたちと遊ぶことは、準備も含めて、何よりも楽しいことだったからです。サークルのみんなで作りあげた劇を見て子どもたちが歓声を上げてくれるのがうれしくて、子どもに何かを与えようという気持ちは正直ありません。むしろ子どもたちから影響を受けていることが多い気がします。

ただ、私たちが子どもたちとの出会いを楽しんでいるということが、子どもたちに伝わって、何かの影響を残せているのかも、と思うときがあります。それが「やりがい」なのだと思います。

問い合わせ先 jikenwaseda@gmail.com

メンバー数 20人

参加費用 なし

活動時期・頻度 一年中、不定期



新宿子ども会 KIDS

教育



1982 年から続く早稲田の公認サークルです。毎週土曜日に戸山公園近くの集会室を借りて、特別支援学級に通う子どもたちと楽しく遊んでいます。毎週土曜日の活動では 2 人の学生を中心に活動のテーマを決め、子どもと学生が楽しめる工作と集団遊びを準備します。

活動の後は反省会を行い、子どもや学生の良かった点や気を付けるべき点を確認します。子どもたちとの触れ合いに難しい知識は必要ありません。ご連絡をお待ちしております。

◆活動計画

通年：子どもたちとの交流活動

4 月：新歓活動 9 月：夏遠足、学生合宿 11 月：秋遠足 12 月：クリスマス会

2 月：調理実習 3 月：卒業式、追いコン

(変更になる場合もございます。)

他にも学生だけでのレクリエーション活動も充実しています！

◆Episode 学年の垣根を超えたアットホーム空間！

新宿子ども会 KIDS では毎週土曜日に対面で活動を行っています。子どもたちがかわいいのはもちろんですが、優しい先輩や楽しい後輩と過ごす時間は、非常に充実した時間です。

この子ども会の和やかな雰囲気がとても居心地が良くて好きです。素敵なメンバーとかわいい子どもたちに会いに来てください！

問い合わせ先 shinjukukids@gmail.com

メンバー数 35 人

参加費用 前期及び後期 2,000 円ずつ
(入会から半期は不要)

活動時期・頻度 毎週土曜日



チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～

環境・教育・地域交流・国際



私たち、「チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～」、通称 Hawaii PJ は、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)から生まれた、早稲田大学公認サークルです。アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島のボルケーノ村にあるチャータースクール、“The Volcano School of Arts and Sciences (VSAS)”で、毎年春休み中の 2 月と夏休み中の 8 月下旬から 9 月上旬にかけて 2 週間、学生チームが現地に渡航し、日本文化教育支援や文化交流を行っています。

◆活動計画

年に 2 回の渡航、チームごとの定期的なミーティング、勉強会(ゲストを招くこともある)、ボランティアプレゼンコンテスト・ボラカフェへの参加、現地の学校への日本文化動画の作成・Google classroom を用いたオンライン授業、早稲田祭の企画展示

◆Episode

HawaiiPJ の特徴はメンバー間の仲の良さと新たな活動を実現できる柔軟さにあります。コロナ後は、2023 年の夏に約 2 年ぶりに VSAS へ渡航を行い、交流を再開させることができました。渡航メンバーとはもちろん、それ以外の先輩や後輩とも活動を通して仲を深めることが出来ます。早稲田祭では渡航で行った授業やボランティアについて考えるワークショップを行いました。

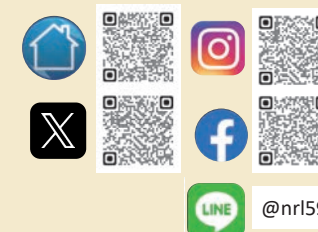
気さくで優しく、頼もしい人が多く、オンラインと対面のハイブリット形式で行った OBOG 現役交流会では HawaiiPJ の歴史を感じられるような充実した機会となりました。グループでのオンライン会議はアイデアの源となっています。

問い合わせ先 hawaii.pj.aloha@gmail.com

メンバー数 30 人

参加費用 年会費：2,000 円、
渡航費

活動時期・頻度 夏(8 月下旬～9 月上旬)と
春(2 月下旬～3 月上旬)



@nrl5974j

早稲田大学 農楽塾

農業・地域交流



平日は晴れた日のお昼、2限と3限の間にシフト制で集まり、大隈庭園内の田んぼ「わせでん」と菜園の管理を行っています。水やりや成長記録が終わった後は、3限が空いているメンバーでご飯に行くこともあります。土日や長期休み期間には農家さんに訪問して農業体験を行っています。訪問する場所は神奈川や茨城、埼玉など関東近郊で、作業の後には採れた作物を使ったおいしいご飯を頂くこともあります。また、地域にまつわるボランティア活動として、援農ボランティアだけでなく、子供への自然教育や、里山の景観保全など多様な活動を行っています。

◆活動計画

4月 新歓、田起こし、代かき、野菜栽培（通年）
 5月 田植え（幼稚園・ステップ学級合同企画）
 6月 ザリガニ釣り（幼稚園・ステップ学級合同企画）
 7月 ネット張りのーじゅく食堂 8月 合宿
 10月 稲刈り（幼稚園・ステップ学級合同企画） 11月 早稲田祭、稲の脱穀、収穫祭
 2月 寒起こし、土作り 3月 合宿
 農家訪問、果物狩りなど、その他企画随時開催

◆Episode

「早稲田”な”のに、なぜ”田”んぼがないのか？」この素朴な疑問から、私たち農楽塾は発足しました。早稲田キャンパス南門で行っているバケツ稲の栽培は一般認知度も高く、南門のいち風景として馴染んできています。現在は発足から約20年が経ち、大隈庭園にある「わせでん」を中心に幅広く活動を行っています。大学のすぐそばで農業に触れられるだけでなく、わせでんでの子供たちとの活動や、大学を飛び出した農家訪問・里山ボランティアなどの活動を通して、普段の生活においてはなかなか経験できないような様々な人との交流を経験することができます。そんな活動を自分たちが楽しむことによって、農業について考えていくという「農を楽しむ、農を考える」のモットーをもとに、これからも活動を続けていきたいと思っています。

問い合わせ先 nogakujuku@yahoo.co.jp
 メンバー数 90人
 参加費用 通年 3,000円
 活動時期・頻度 通年 活動日は、月曜日～金曜日の昼休みと、土日に各種農業体験、ボランティア



早稲田大学 POST

地域交流・農業



「ボランティアに興味があるけど、具体的に何がしたいかわからない…」 「いろんなボランティアに挑戦してみたい！」 などなど考え中の方！ そんなあなたには POST がおすすめです！ POST では、「つながり」をキーワードに、ボランティアを通して、小学生からおじいさんおばあさんまで、幅広い世代の方々と交流できます。ボランティアの種類は高齢者交流、放課後デイ、農業体験、イベント運営などオールジャンル！ あなたの持っている学生ならではの力を、POST でボランティアを通して活かしてみませんか？ さらに、ご飯会をしたり、ディズニーやカラオケに行ったりするなどの遊びも充実しています！ 雰囲気の良いはボランティアサークルの中で一番の自信があります！ ぜひ一度見学に来てみてください！

◆活動計画

ミーティング：週1回（対面とオンライン併用）高齢者との交流会（サロン）：毎月第2日曜日
 放課後等デイサービスでの活動：任意 ゴミ拾い：月1回 農業体験合宿：春休みと夏休み
 その他様々なボランティア活動ができます！

◆Episode

世界的なパンデミックにより、人とのつながりが希薄化してしまった今だからこそ、かつては見えてこなかったつながり方やその重要性を私たちは知ることになりました。日常にあるつながりを大切にだけでなく、自分から外に働きかけることで人はつながることの温かさを実感できる、ボランティアを通して、そんな体験ができるのが早稲田大学 POST です。

ボランティアは決して一方通行ではなく、双方向の人とのつながりであり、それを通じて相手を受け入れ、同じ空間に共にいることに喜びを感じることができます。団体を活動するからこそ生まれる人とのつながりを大切に私たちはボランティアをしています。

問い合わせ先 post.produce2022@gmail.com
 （ボランティア依頼・連絡用）
 wasedapost.shinkan@gmail.com
 （新歓、入会、体験希望用）
 メンバー数 25人
 参加費用 年会費 2,000円
 活動時期・頻度 ミーティング 週1回、地域の高齢者との交流 月1回、学童のお手伝い 任意、ゴミ拾い 月1回
 農業体験合宿 年2回、その他活動 不定期



まつだい早稲田じょんのびクラブ

教育・地域交流



じょんのびクラブは、新潟県十日町市松代地域を中心に活動するボランティアサークルです。地元住民や十日町市役所の方に全面的に協力をしていただき、少子高齢化が進む地域の活性化を目指して「松代塾 Jr ラッタッタ」や「雪国体験プロジェクト」を主軸に地域の一助となるよう活動しています。行事のお手伝いなど現地での不定期な活動、週一回のミーティングの他、都内でボランティアを行うこともあります。地域住民との交流を大切にしており、活動を通して農村地域の魅力と人の温かさを感じられます。

◆活動計画

4月新歓合宿 8月せたがやふると区民まつり、松代塾 Jr ラッタッタ
10月ほくほく線元気まつり、稲門祭 1月世田谷新年子どもまつり
2月雪国体験プロジェクト 3月松代冬の陣

◆Episode

「じょんのび」とは、新潟県の方言で「心地よい」「のんびり」といった、心からくつろげる様子を表す言葉です。じょんのびクラブの活動拠点である松代地域では、豊かな自然と温かい人々に囲まれた農村の暮らしが広がっています。夏には降り注ぐような満天の星空を、冬には四メートルもの雪が創り出す銀世界。訪れるたびに、宿泊先でご飯を作るおばちゃんや元気いっぱいの子どもたちが、温かく迎えてくれます。都心にはない「じょんのび」な環境で、サークルの仲間や地域住民の方と協力しながら特別な大学生生活の思い出を一緒に作りませんか？

問い合わせ先 jonnobiclub@gmail.com

メンバー数 23人（うち留学生6人）

参加費用 約1週間の現地活動では3～4万円、1泊2日の活動では2～3万円ほどかかります。

活動時期・頻度 週一回ミーティング（2024年度は月曜6限）、長期休み中のおよそ1週間の現地活動、月一ほど東京か現地での活動



ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～

国際・教育・地域交流



私達は早稲田大学が2009年にラオスのチャンパサック郡に設立した2つの小学校で教育支援活動を行っています。現地では「共に考え、共に感じる」という理念の元、衛生や環境保護、またチャンパサック有する世界遺産に関する授業を行ってきました。授業以外にも、家庭訪問やラオスの伝統行事；パーシーへの参加を通じて、現地の村人との連携を深めています。国内活動は授業の作成、及び今後の活動内容についての話し合いが中心です。他にも、ラオス人留学生との交流会を毎年開催しています。

◆活動計画

4月：新歓活動 5月：ボランティアコンテスト及びラオスフェスティバルへの参加
6～11月：授業の発案と作成、留学生交流会の開催
11月：早稲田祭出展 12月末～1月上旬：ラオス渡航 渡航後：反省と振り返り

◆Episode

現地に行って一番感じたのは「沢山のことを子どもたちに教えられた事」だ。勉強を教えに行っただけで、実は与えられたものの方が大きかった。「支援」という言葉に囚われると、無意識に相手を見下してしまう可能性もあり、自分たちが「何かを与える立場」にいるなんて考えは傲慢である。ボランティアの本質とは相手に寄り添い、「共に考え、共に感じる」事なのではないか？ボランティアの在り方に正解はないが、私達はこれからも互いに良い影響を与え合い、共に成長し、支援者と非支援者の枠組みを超え、日本とラオスの親友として、関係性を持続させたい。

問い合わせ先 laos.sung@gmail.com

メンバー数 25人

参加費用 入会費、年会費：なし
渡航費：約25万円

活動時期・頻度 週2回・月 or 火 or 水、金
(19:00～20:30)



ロータリーの会

環境・教育・地域交流・国際



ロータリーの会は高田馬場駅前ロータリーのゴミポイ捨て問題に取り組むサークルです。清掃活動や広報を通じた「意識改革」、行政や自治体との「問題共有」、企業や他サークルとの「企画立案」を行っています。清掃は週3日行っているため、好きな時に参加できます。また、広報班・企画渉外班に分かれて毎週行っている班会議では、学年関係なく自由にアイデアを出し合っています。毎月の最終金曜日には会全体での会議があり、会議後にご飯を食べに行くのが恒例です。

◆活動計画 ～昨年度の活動例～

4月：高田馬場経済新聞のラジオに出演 5月：新宿区との協議 6月：サークルコラボ企画 7月：立て看板の設置 9月：夏合宿、サークルコラボ清掃 10月：企業とのコラボ清掃、稲門祭 11月：早稲田祭 12月：WAVOC とのコラボ清掃、出張授業 3月：春合宿（その他随時企画あり）

◆Episode あしたのロータリーをつくらう

高田馬場駅前ロータリーは待ち合わせや談話のために多くの人に利用され、常に活気のある場所です。しかし、中にはロータリーを自分たちだけのものかのように利用し、ゴミをポイ捨てして行く利用者もいます。その中には早大生も多く含まれます。このような現状を変えるべく、ロータリーの会は設立されました。最初は利用者から冷たい視線を向けられることもありましたが、現在は清掃活動を手伝ってくれる人もおり、利用者の変化を感じています。

これまでの取り組みとしては、飲食店とのコラボ清掃や、大正製薬とのドリンク配布などがあります。現在は明治安田生命とのコラボ清掃を月に1、2回行うほか、大学構内でのポスター掲示などを行っています。

問い合わせ先 rotary.waseda1920@gmail.com
メンバー数 61人
参加費用 なし
活動時期・頻度 毎週水曜日～金曜日、随時



WHABITAT

国際・住居支援・農業



WHABITAT は、主に東南アジアなど貧困地域での住居支援を行う国際 NGO 団体『Habitat for Humanity Japan』の学生支部です。毎週水曜日に国内外の社会問題について学ぶミーティングを行うほか、不定期の国内ボランティア、春夏休業期間には長期プロジェクトのボランティアを行っています。コロナ禍で制限がありましたが、現在は状況も改善し本年から海外での建築ボランティアも再開したり、合宿ができるようになったりと、活動の幅は広がりました。またボランティア以外にも、定期的なレクやイベントを行っています。時に真面目に、遊ぶときは全力で楽しむサークルです！

◆活動計画

4月 新歓イベント、レク、国内ボランティア 5月 新歓イベント、国内ボランティア、新歓合宿 6月 国内ボランティア、レク、早慶戦観戦、1-4年会 8月 国内ボランティア、長期ボランティア、レク、納会、夏合宿、海外住居建築ボランティア（GV） 9月 国内ボランティア、長期ボランティア、レク、海外住居建築ボランティア（GV） 10月 国内ボランティア 11月 レク、引退式、早稲田祭 12月 クリスマスパティー 1月 新年会 2月 国内ボランティア、冬合宿、海外住居建築ボランティア（GV） 3月 国内ボランティア、海外住居建築ボランティア（GV） + 毎週水曜日、大学付近でのミーティング（長期休み期間は不定期）

◆Episode 『「できること」を考える』

入学以来、コロナの影響で思うように活動できないことにもどかしさを感じていました。そんな中、2年生の夏休みにサークルで国内でのチーム活動を行いました。コロナ禍の今、自分たちにできることって何だろう？をテーマにたくさん話し合いを重ねることで、自分が「できない」に注目し視野が狭くなっていることに気が付きました。最終的にはSNSを活用しながらインターネット上での募金活動を行い、仲間の協力もあり、結果として目標金額を超える寄付を集めることができました。

この経験を通し、どんな状況であっても、広く世界を見渡せば、新たな可能性を発見することができる、ということ学びました。それ以降は、一歩下がったところから「できる」に注目するようになりました。現在では制限も外れ始めていますし、「できる」ことは増えているからこそ、この成長を忘れないようにしたいと思います。

問い合わせ先 whabitat.mail@gmail.com
メンバー数 86人
参加費用 3,000円
活動時期・頻度 毎週水曜日のミーティング（基本対面）、不定期ボランティア、レクリエーション



田舎留学プロジェクト

地域貢献・地域活性化



こんにちは！田舎留学プロジェクト事務局です！田舎留学とは、2025 年 9 月に大学生 30 人で一週間静岡県南伊豆町に滞在する合宿のことです。本留学は町民と参加者である東京の大学生が、町民の事業のお手伝いなどの交流を通し、助け合う関係性を形成することで、参加者が南伊豆町に住まなくても町の一員になること（＝関係人口）を目指す新しい滞在体験です。

私たち事務局は早稲田大学主催 2023 年春地域連携ワークショップの参加者で、そこから派生して現在町の職員として活動しています。一緒にこの夏、第二の故郷をつくりませんか？？

◆活動計画

- 4 月：マイルストーン掲載 & 4 月の大学公式新歓に出店
- 5-7 月：定期 mtg、レク
- 8 月：事前勉強会
- 9 月：田舎留学

問い合わせ先 inakaryuugaku@gmail.com

メンバー数 5 人

参加費用 なし

活動時期・頻度 通年、週一回程度



学習支援サークル BORDER FREE

教育



BORDER FREE（以下 BF）では、“教育格差の是正”を活動理念に、子どもたちへの学習支援を行っています。子どもたちの居場所作りにとどまらず、学習塾に劣らない集団授業・個別指導も大学生のみで企画・運営しています！さらに、毎年新規事業を打ち出しており、地元で教室を作るメンバーもいます。BF に入ると、活動理念を軸とした様々な取り組みに関わることができます。

普段は週 1 ～ 2 回のミーティングを実施しており、ボランティアサイドとビジネスサイドの両面から熱い議論を繰り広げています！（^^）

◆活動計画

- 通年 個別指導と集団授業の運営・学習支援ボランティア、全国への教室展開
- 4 月 新メンバー入会
- 5 月 新メンバー歓迎イベント
- 6 月 新入生ビジネスコンテスト（有志）
- 8 月 英語カフェ開設
- 12 月 忘年会
- 3 月 卒業生追いコン

◆Episode

BF でできることは多種多様です。昨年は、新入生によるビジネスコンテストを実施したり、「高校生が運営するカフェ」を行政・企業との連携のもとで実施したり、営利塾に負けないマーケティングに本気で取り組んだり…。このように、一般的なボランティアの枠にはとどまらない“超”本格的な運営経験ができます。そのため BF には子どもが大好きな人から経営に興味がある人まで、個性豊かなメンバーが在籍しています。

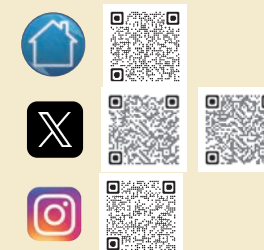
ただ、どんな活動にしろその根底にあるのは「子どもたちの笑顔を増やしたい」という熱い想いです。多様性に溢れながらも、共通の想いのもとお互いを認め合える環境が BF の一番の魅力です！

問い合わせ先 border.free.2021@gmail.com

メンバー数 70 人

参加費用 なし

活動時期・頻度 通年（週に 1～2 度の対面 MTG あり）



学習支援 STEP UP !

教育



皆さんは、「教育格差」という言葉を知っていますか？「教育格差」とは、「生まれ育った環境により、受けることのできる教育に格差が生じる問題」のことです。私たちは、この問題に向き合うべく、経済的な事情によって塾に通いたくても通うことができない小・中学生を対象に、無料で勉強を教えています。勉強を通じて、生徒の将来を真剣に考え、生徒と講師が互いに学び合うことができます。

また、大学生だけでなく高校生や社会人も講師ボランティアとして活動に参加しているため、幅広い交流ができることも魅力の一つです。

◆活動計画

- 4月～7月：通常塾（前期）
- 8月：夏季講習
- 9月～2月：通常塾（後期）

◆Episode

私たちの活動は、子どもたちに単に「勉強を教える」ことだけではありません。生徒・講師間で頑張ったことや嬉しかったことをシェアし、互いを褒め合うワークショップや、オンラインイベントの企画・運営、そして、授業前後の子どもたちとの何気ないやり取りにも全力で取り組んでいます。子どもたちの心に親身に寄り添うことで、彼らが自分に自信を持ち、自他を共に大切にする心を育むことができるよう、サポートに努めています。講師とのやり取りに最初は緊張している子ども、じっくりと同じ時間を共有することで、徐々に心を開いてくれます。

学校での様々な出来事を教えてくれる子どもたち。講師にも自然と笑顔が溢れます。

問い合わせ先 stepupgakusyu@gmail.com
 メンバー数 60人
 参加費用 年会費 0円
 活動時期・頻度 毎週土曜日 15:30～18:30



学校ボランティアプロジェクト

教育



「子どもの『できる』を増やし、成長を支援する」という理念を掲げ、提携している都内の公立小中学校に大学生をボランティアとして派遣しています。ボランティアは教室に入り、授業中はクラス全体を見て個別に声かけを行ったり、ある特定の子に付き添ってサポートを行ったりします。休み時間は一緒に遊び、給食も一緒に食べます。その時に子供たちとお話したりすることもできます。これらの活動を通して子どもたちとの関係を深めていきます。私たちは子ども 1人 1人に向き合い、学習面・生活面で日々の成長を後押しします。

◆活動計画

- 通年：学校でのボランティア活動（週 1 回）
- 4月～5月：春のボランティア説明会・初期研修
- 6月：前期研修会
- 9月～11月：秋のボランティア説明会・初期研修
- 12月：後期研修会

◆Episode 大学生だからこそ、学校ボランティア

学校でボランティアを始めて、1年が経ちました。実際に授業に参加して、落ち着きのないうちの子や授業に遅れがちな子を中心にサポートをしています。私がボランティアを行う中で心掛けているのは、先生でも子どもでもない、大学生という視点だからこそできるサポートです。クラス内の雰囲気を見ながら担任の先生と意思疎通を図る一方で、子ども 1人 1人と対等に向き合い、各々のペースで少しずつ「できる」を増やしていきます。

教員を将来目指す方にとっては、貴重な経験を積むことができますし、現在の教育現場に興味がある方にとっても、子ども達の日々の成長の一端を担えることにやりがいを感じるとともに、自分の成長を実感できると思います。

問い合わせ先 vp.info@roje.or.jp
 メンバー数 12人
 参加費用 ボランティア保険加入費（300円/年）、活動校までの交通費、給食費（希望者）
 活動時期・頻度 通年（大学の時間割に合わせた活動時間の設定が可能）
 週 1 回（半年間のサイクルを原則としますが、期間についてはご相談ください。）



関東中高まなびプロジェクト

教育



「開かれた教室で学びが拓かれている未来」をビジョンに掲げ、中学生・高校生に向けた授業実践を行っています。提携校は佼成学園中学校と聖学院高等学校の2校です。佼成学園中学校では、中学3年生を対象に、自己探求の授業を行っています。聖学院高等学校では、高校2年生を対象に、社会とつながる授業の実践を行っています。「生徒と学び合うパートナー」となり、様々な立場の人が、生徒とふれ合い、学び合える「開かれた教室」で、五教科の学習や受験のための学習に限らない「拓かれた学び」を目指しています。

◆活動計画

4月：春新歓/カリキュラム作成
5月から7月：カリキュラム作成と授業案・スライド・ワークシート作成
8月：合宿/聖学院理科課題研究サポート
9月：聖学院夏の授業実践/秋新歓
11月：佼成学園授業実践/聖学院授業サポート
1月：佼成学園模擬授業 2月：聖学院冬の授業実践 3月：春新歓

◆Episode 大学生だからこそ、学校ボランティア

授業実践までの準備期間では、自分の過去の経験や、まなぶろに蓄積されている過去の授業実践を参考に、「こんな授業があったら面白そう！」というアイデアを全員で出し合います。授業準備の魅力は、今まで授業を「受ける」存在だったかつての自分だけでは気づけなかった工夫に気づくことが出来たり、メンバー間で行う模擬授業の中で生徒を引き込む話術やオンラインツールの活用方法を一緒に考え、学びあえることです。授業実践では、生徒の生の反応を受け取ることができ、複数回の授業を通して生徒との距離を縮めることができます。

問い合わせ先 kantomanapuro.info@roje.or.jp
メンバー数 18人
参加費用 年会費 3,000円
活動時期・頻度 毎週火曜日 21:30-23:00 聖学院ミーティング/
毎週日曜日 21:30-23:00 佼成学園ミーティング
その他、月に1度の全体ミーティング・交流会/授業実践を行う前の月から土日に模擬授業を行うことがあります。



助走の場・雲

教育・若者支援



私たち、「助走の場・雲」は不登校や引きこもりなどの生きづらさを抱える若者のための居場所支援である「フリースペース」の開放と、子どもを対象とした学習支援の二つを活動の柱としています。フリースペースでは主に雑談やゲームをしたり、外で体を動かしたりなど、何気ない時を過ごしながら、利用者の方が生きづらさを少しでも解消し、次のステップを踏み出せるようお手伝いしています。

しかしながら、“生きづらさ”といっても千差万別です。その答えを探しながらスタッフ、利用者共に助走していく“育ちあいの場”でありたい、それが私たちのモットーです。

◆活動計画

毎週日曜日のフリースペース開放、平日の子どもセンターでの学習支援

◆Episode

私（副代表）は大学3年生の2月に初めて「助走の場・雲」の見学に行きました。当時の私はボランティアをやりたいけれど自分にできるのか不安、そんな思いを抱えていました。それでも勇気を出して見学に行くと、そこで迎えてくれたのはあたたかい雲の先輩スタッフの皆さんでした。その日、居場所支援の活動に参加して、特別なことはしないけれど、一緒に居場所を作っていく、そんな活動に心を惹かれました。それ以来現在まで、ずっと活動を続けています。

「助走の場・雲」は子供の居場所を作るとともに、皆さん大学生の居場所にもなります。私だけでなく、のんびりマイペースな人、人一倍ゲームを楽しむ人、静かだけど実は面白い人など、いろいろなスタッフがいます。そんな雲の一員として、ボランティアを通して成長しながら、大学生生活の居場所を作りませんか？ボランティアに興味がある方も、雲の雰囲気気が気になる方も、ぜひ一度見学にお越しください。お待ちしております！

問い合わせ先 josounobakumo@gmail.com
メンバー数 19人
参加費用 なし
活動時期・頻度 週1～2回



先生のための教育事典 EDUPEDIA

教育



「日本一多く、教員を支援する教育実践情報プラットフォーム」をビジョンとして掲げ 2008 年に発足。具体的には、教員対象の WEB メディア「先生のための教育事典 EDUPEDIA (<https://edupedia.jp/>)」を運営し、月間の閲覧者数は約 30 万人となっている。運営の主体は早稲田生を含む全国の大学生で、関東のみならず、関西にも支部を持ち、合計メンバー約 100 人で活動。

取材・記事作成・分析・広報・渉外など WEB サイトの運営に関わるほぼ全てのことを、大学生が主体的に行い全国の先生のために日々活動が続けている。

◆活動計画

3 月～5 月新歓

6 月合宿

9 月代わり

取材・記事作成は自分の都合に合わせて

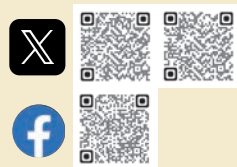
文科省や学校現場で働く OBOG を迎え、月 1 で勉強会を開催

◆Episode

とある先生向けの勉強会に参加したときのこと。より良い授業を作り、子どもの学びを上げるために、忙しい仕事の合間を縫って多くの先生が集まっていました。プロとして日々子どもたちと向き合う先生方の発言には重みがあり、こちらは学ばせていただく一方でした。それでも EDUPEDIA の取り組みをご紹介しますと「よく使ってるよ、ありがとう！」「素敵な活動だね！」と励ましの言葉をかけてくださいました。

大学生の自分にできることはそう多くはない。けれど、先生のために、そしてその先にいる何千、何万もの子どもたちのために、自分の足でより良い教育の手がかりを集めていかねばならない。その決意を再び新たにした日でした。

問い合わせ先 edupedia.info@roje.or.jp
メンバー数 約 100 人
参加費用 年会費 6,000 円
活動時期・頻度 2 週に 1 回、土曜にミーティング



つぼみプロジェクト

教育・復興支援



私たちは、東日本大震災で被害を受けた福島県南相馬市の子どもたちを対象としてキャリア教育を行っています。南相馬市では、震災の影響による失業や人口減少などによって、多様な働く大人を見られず、子どもたちが将来を描きにくいことが課題となっています。私たちは、そんな子どもたちが将来の可能性を広げるお手伝いをしている団体です。

福島の子どもたちが日ごろ出会えないようなものに出会える、そして居場所となれる環境もがもてるように、日々話し合いを行ったり、実際に福島に行ってイベントを開催したりしています。子どもだけでなく大学生も成長できる、そんな「つぼみ」でみなさんを待っています！

◆活動計画

4 月：新歓

5 月：サムライフェス参加(南相馬市内で行われる高校生主体の町おこしイベント)

キックオフ (8 月のキャリア教育イベントにむけた企画作り開始)

8 月：キャリア教育イベント (南相馬市の小学生・中学生の子どもたちを対象にキャリア教育イベントを開催@南相馬)

10 月～12 月：南相馬市の子どもたちを対象とした学習支援@オンライン

2 月末：学校ボランティア (@南相馬)

3 月：イベント (南相馬の小学生・中学生の子どもたちを対象に交流イベントを開催@南相馬)

◆Episode 「きっかけ」

みなさんの夢、そしてその夢を持ったきっかけはなんですか？きっかけが必ずあるはず。子どもの頃の社会科見学やお仕事体験、身近な働く大人など、様々な出来事が自分の将来を考えるきっかけになっていると思います。私自身も、高校の先生やテーマパークで出会ったキャストさんなど、これまでたくさんの人に「憧れ」や「きっかけ」を与えてもらいました。「だから今度は自分自身が誰かのきっかけになりたい！誰かにきっかけを与えたい！」そう思い、始めたのがつぼみプロジェクトでした。

問い合わせ先 tsubomi.info@roje.or.jp
メンバー数 約 10 人
参加費用 年会費 3,000 円
活動時期・頻度 週 1 回、日曜日 16～19 時ミーティング



ハートタッチ

共生・異文化・人権・教育



「盲ろう者」という言葉を聞いたことがありますか？ 私たちは、視覚と聴覚に障害を併せ持つ盲ろう者と、出会い・関わり・気付き・考える場を創りたいという想いの下、2022 年 11 月から活動を始めました。盲ろうの方々と様々な場面で共に活動し、理解を深め、楽しさを共有することを目指し、盲ろうの方々と学生が共に楽しめる企画の模索、盲ろうに関するイベントへの参加や運営協力を行なっています。

そんな私たちの団体名は「心（ハート）に触って（タッチ）つながるイメージ」に由来しています。少しでも興味のある方、ぜひご連絡ください！

◆活動計画

- ・毎月 1 回程度：サークルで企画／運営するイベント（盲ろうの方々と交流会）
- ・その他随時活動：盲ろう関係のイベントへのボランティア、サークルとしての活動とは別に「友人」として盲ろうの方々と関わる etc…

◆Episode 「共に」学ぶ

一言で「盲ろう者」と言っても、コミュニケーション方法は音声・触手話・指点字など多様です。サークル設立当初は、手話や指点字などもほとんど出来ない状況でした。ですが、「伝えたい、理解したい」という気持ちを大切に、盲ろうの方々と学び、練習し、少しずつ盲ろうの方々とコミュニケーションを取れるようになってきました。

そして、この過程で多くの盲ろう関係者と出会い、支えて頂いています。盲ろう者⇔学生⇔関係者という双方向の関係性があるのが、このサークルだと思います。ぜひ、「共に」活動しませんか？

問い合わせ先 heart.touch.0406@gmail.com
メンバー数 10 人
参加費用 なし
活動時期・頻度 通年（月 1 回程度のイベントの企画／運営、月 1 回～2 回のミーティング）、その他随時活動あり



早稲田大学 BAM 部

地域交流・環境・農業



BAM 部は早稲田大学のメンバーを中心に活動を行う、地方創生インカレサークルです。

地方で大きな社会課題となっている「放置竹林問題」に対処するため、竹林整備を学生の力でを行い、伐採した竹の利活用を通して持続可能なサイクルで放置竹林問題の解決を目指しています。

今後は、現在の活動、つながりを大事にしながら、放置竹林問題の他にも空き家、過疎化、農業に関する問題など地方の様々な課題にも活動の幅を広げたいと考えています。

【2024 年度の主な活動】

- (1) 竹林伐採
- (2) 竹炭を利用した食品を販売するキッチンカー事業の開始
- (3) 竹あかり製作ワークショップの実施
- (4) 小中高生向けの環境教育
- (5) 竹を使った活動アイデアを話し合うコンペを BAM 部内にて実施

◆活動計画

- 4, 5 月：新歓、竹林伐採、竹あかりイベント準備、学年別交流会、総会、コンペ
- 6～9 月：竹林伐採、七夕祭り、コンペで選ばれた企画に着手、合宿、竹あかりイベント
- 10, 11 月：所沢祭キッチンカー出店、早稲田祭、コンペ企画実施
- 12～3 月：竹林伐採、クリスマスマーケット出店、代替わり、桜祭りワークショップ出店

◆Episode 活動を通じて放置竹林とその深刻さを知る

BAM 部の活動を通して、放置竹林が土砂災害を引き起こしたり、竹が道路、家屋に倒れたり、畑や家の敷地内に竹が侵入したり、獣害を引き起こしたりするなど身近に竹による被害があることを知り、実際にそれに苦しむ地域の方が多いことを知りました。

そして、竹林整備を行ったときは道行く人からも「ありがとう」「頑張ってるね」と多くの声を頂くことができ、本当に地域のために活動することができているのだなと実感することが出来ました。

問い合わせ先 contact@bamboo-waseda.com
メンバー数 51 人
参加費用 入会費 5,000 円
活動時期・頻度 通年・月 2～4 回（基本は週末）



びよーんど

教育



高田馬場駅から30分圏内の公立中学校を拠点に、同校の不登校生徒の居場所作り、学習指導を中心に学校行事や放課後補習教室の補助などを行います。更に、団体内で勉強会を開催し、メンバー間でディスカッションしたり外部講師をお招きしたりします。月1回の定例会では、役職や学年によらずメンバーが持ち寄ったアイデアを検討、実装していきます。

これらの取り組みを通し、私たちのビジョン「学生であることの強みを活かした従来の学校教育の枠組みを超えた教育活動を通して生徒とメンバーが共に成長する」の実現を目指しています。

◆活動計画

- 4月 入学式
- 6月 期末試験前放課後補習教室、体育大会
- 7, 8月 夏期補習教室 9月 中間試験前放課後補習教室
- 10月 音楽発表会 11月 期末試験前放課後補習教室
- 1月 高校受験対策指導 2月 期末試験前放課後補習教室
- 3月 卒業式
- 月1回程度 土曜授業補助、定例会、勉強会

◆Episode

現在は15名が活動しています。教育活動の経験が無い、教職課程を履修していないメンバーが多いですが、それぞれの経験や思いを持ち寄り、私たちだからこそ出来ることを探し続けています。できて間もない小さな団体だからこそ「こういうのやりたい!」「もっとこうしたい!」というアイデアがすぐ活動に反映され、教員の先生方と共に試行錯誤しています。25年1月、ある元不登校生徒がメンバーに「今はちゃんと通えているよ!」と笑顔で報告してくれました。こんな素敵な経験を私たちと一緒に。

問い合わせ先 beyoond2023@gmail.com
 メンバー数 15人
 参加費用 なし
 活動時期・頻度 中学校での活動（平日8:30~14:00のうち、週1回2時間程度）に加えて、月1回程度の定例会や勉強会の開催や、教育関連イベントへの参加などがあります。



フードグローバルプロジェクト

国際・地域交流



2021年秋から「食から始めるグローバル社会共創〜「おいしい!」からつながる世界とわたし〜」をスローガンに掲げて活動しています。メインの活動は、早稲田周辺の飲食店で働く外国人にインタビューすることです。実際に、会話する中で得た気づきをレポートにまとめ、日本で生活する外国人が抱える悩みや課題を発信しています。また、その課題の解決に向けて私たちにできることは何かを考え、様々な取り組みを企画しています。例えば昨年度はビザ問題に着目し、行政書士や民生委員の方を招いて勉強会を実施しました。

◆活動計画

- 【定期的な活動】
- ・早稲田周辺の飲食店で働く外国人にインタビュー
- ・インタビュー記事の作成と公開
- ・ミーティング&勉強会、イベントの企画
- 【イベント】
- ・所沢祭
- ・ボラコン、ボラカフェ

◆Episode

「様々なバックグラウンドを持つ人と話したい。」「社会貢献をしたいけれど、一歩踏み出せない。」そんな思いを持っていませんか？まずは、ローカル（身近な世界）に目を向けてみませんか。ローカルな視点はグローバルにつながる第一歩だと私たちは考えています。フグプロはこれまで10人以上にインタビューしました。その中で、ビザの取得に難しさを感じたり、精神的負担を抱えている方がいることが分かりました。

今後は、インタビュー活動を続けるとともに、発見した課題にアプローチできる新たなイベントを実施したいと考えています。

問い合わせ先 food.glocal.project@gmail.com
 メンバー数 3人
 参加費用 なし（交通費などイベントの際に徴収する可能性あり。）
 活動時期・頻度 2週間に1回程度（平日の5限目）



ボルネオプロジェクト

国際交流・教育支援



毎年、春・夏休みの長期休暇期間中にマレーシアのボルネオ島コタキナバルに渡航して、現地の無国籍の子供たちに向けて授業支援を行います。また、現地のお宅に訪問させていただき、無国籍の子どもたちの両親や現地の方に質問して、無国籍の人々の現状把握も行います。学期期間中は渡航に向けて、定期的に集まり、実際に現地で行う授業に向けての準備や、マレーシア語の勉強も行う予定です。

◆活動計画

春・夏休みにマレーシアのボルネオ島コタキナバルに渡航して、無国籍の子どもたち向けに授業を行います。学期期間中はそれに向けて、授業準備やマレーシア語の勉強を行います。

◆Episode

2020年以降、新型コロナウイルスの影響を受けて停止してしまったボルネオプロジェクトの活動が、2024年春に再び始動しました。マレーシアのボルネオ島コタキナバルで、無国籍の子どもたち向けの授業を行うため、過去の活動を参考にしながらも、新たな方法を日々模索しています。

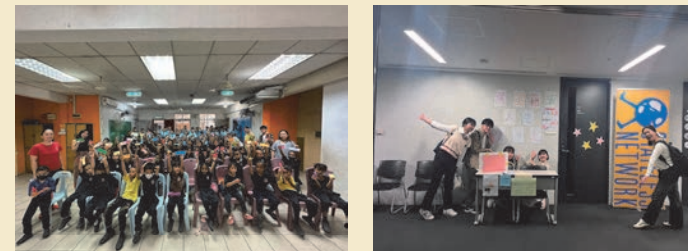
実施する授業は、道徳教育・日本文化体験・スポーツや音楽・実験など多岐にわたります。子どもたちに何を教えたらいのか、言語の壁を乗り越えて、考えています。子どもたちの楽しむ姿を見ることがやりがいになっています。

問い合わせ先 borneoproject2024@gmail.com
メンバー数 11人
参加費用 マレーシア渡航費など
活動時期・頻度 春・夏休みの渡航、学期期間中の集まり
(週1程度)



無国籍ネットワークユース

人権・国際・地域交流



◆活動計画

3月：マレーシア研修 4月：新歓活動（説明会、WAVOC 企画参加等）
5月～各月：親睦会、勉強会 7月：初回セミナー開催 11月：早稲田祭出展
そのほか不定期でイベント開催（新型コロナウイルスの感染拡大具合にもよるが、対面での写真展開催や交流会、入国管理局の訪問、物資支援、絵本の読み聞かせ活動なども検討）

◆Episode 私たちにできること

私が無国籍ネットワークユースに入会したのは、ボランティアを経験してみたく、国籍を持たないことで普通の暮らしができない、そんな人たちが居ることにまず驚いたからです。私は自分のパスポートを使って国家間の移動ができ、病院や学校・様々な場面で日本国の助成を受け、気づかない当たり前の支援体制に守られているのだなと思いました。

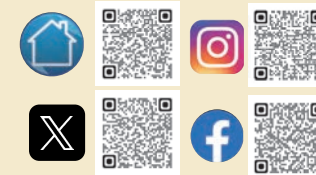
無国籍という事実で困る人がゼロになる世の中でなくとも、国や周りの人の柔軟な理解のため、私たちは学び、当事者に寄り添い、この社会問題を伝えていくことに取り組むのだと考えます。
(2021 早稲田企画より)

◆今自分にできること

ロヒンギャ問題に関心はありましたが自分に何ができるのかを考えることはありませんでした。ロヒンギャ難民として認定された方の講演会では、差別を受けるロヒンギャの人たちは人権を守られず、国民、難民とも認定されない状況に置かれても尚国際社会は目を向けないことを訴えており、その中で彼は「日本も動いて欲しい」と言いました。私たち日本国民が動くことによって居場所を失った人々を救うことができると知りました。

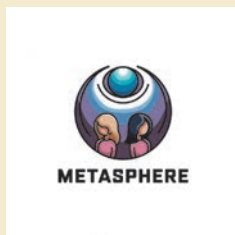
「無国籍」という国際問題に対して今の自分の知識と力でどう問題に立ち向かうか、そして自分にできることはないというマインドセットを捨てて、これから貢献しようと考えています。(12月14日講演会にて)

問い合わせ先 stateless.youth@gmail.com
メンバー数 約15人
参加費用 なし
活動時期・頻度 年間を通して月2回のミーティング、
年数回のイベント



MetaSphere

国際・地域交流・教育・世代間分断・高齢者・身体障害者の孤立・自然・環境・平和問題



メタバース空間を用いて世界中の人々をつなげる活動を行っています！

① SDGs×メタバースイベントプロジェクト

SDGsに携わるNGO、NPO、ボランティア団体と一般のメタバースユーザーをメタバース空間内で繋がめます！メタバース空間を通じて、世界中の人々とリアルな出会いをすることができます。その中で、それぞれが抱えている社会課題を知ることによってあなたの世界が広がります！

② 高田馬場メタバース化プロジェクト

メタバース空間に高田馬場の街並みを再現して、その空間を地域の方々および国内外の学生たちとの文化交流の場にします！

◆活動計画

通年：メタバースを利用した活動を行っている団体と意見交流会の実施

4月～6月：高田馬場シニア活動館と高田馬場地域の街並みの変遷に関する交流会、インタビューの実施

11月：ユースフェスティバルへの参加

1月～3月：メタバースの公開に際し2026年初頭に早稲田大学でシンポジウム（参加者100名、登壇者3名程度を予定）を開催し、当時の生活や歴史を振り返る

◆Episode【初心者・経験者問わず大歓迎！】

私たちは、対面・オンラインを通じてメタバースを多くの人に周知し、活用していくための活動を行っています。昨年度は、対面では小中学生の子供たちにMetaSphere所有のVRゴーグル（MetaQuest2）を使って私たちが作成したワールドを体験してもらいました！

オンラインでは、メタバース空間（VRChat、Clusterなど）を使用して自分たちのワールドを作成し、他のボランティア団体や一般の方々との交流会を楽しみました！Come and join us:)

問い合わせ先 MetaSphere2024@gmail.com

メンバー数 2人

参加費用 なし

活動時期・頻度 毎週水曜日 17:30～：定期ミーティング / 不定期：メタバース交流会の開催および参加





まずは WEB で募集情報を集めよう！
<https://www.waseda.jp/inst/wavoc/>



WAVOC

早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター